

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	社会福祉法人 遊佐町社会福祉協議会
実習期間	令和 元年 8月 7、8、9、15、16日
学生氏名	高橋 源弥
実習プログラム	8月7日 9:00～12:00 生活支援の担い手養成研修へ参加 13:00～14:00 エプロンサービスの説明 14:00～15:00 コミュニケーション麻雀の体験 15:30～17:00 実習の振り返り 8月8日 8:45～10:30 資料閲覧 10:30～11:00 ケース記録閲覧 11:00～12:00 配食サービス(準備、同行) 13:30～15:00 いきいき百歳体操 15:00～16:30 事例学習 16:30～17:00 実習の振り返り 8月9日 9:00～12:00 西遊佐まちづくりセンターへ同行(会場準備、いきいき百歳体操) 13:10～14:10 生活困窮者宅 訪問同行 14:20～16:00 ケアマネジャー 質疑応答 16:00～17:00 実習の振り返り 8月15日 8:45～10:00 記録・振り返り 10:00～12:00 配食サービス(準備、同行)

	<p>13:15～15:50 福祉施設巡り・見学</p> <p>16:00～17:00 実習振り返り</p> <p>8月16日</p> <p>9:00～14:00 西遊佐カフェ(会場準備、百歳体操、食事会、後片付け)</p> <p>14:30～17:00 休憩・全体の振り返り</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>学びや気づきとしては「仮説を持ってみることで気づきや信頼関係に繋がる」ことがあるのではないかと思います。仮説という言葉を使いましたが、これは非常に大切なことです。しかし、この仮説は当たっているか外れているかは重要ではないと考えています。仮説を持つことが重要な具体的な例を挙げると、私は実習で生活保護世帯の事例に関わらせていただきました。その世帯の母親であるAさんは、長男や長女であるBさんやCさんに、高価な物を買ってしまうことが何度かありました。私はそこに仮説として「不自由な思いをさせたくない」という責任を感じていることによるのではないかと考えました。そういった自分の考えた仮説をAさんに話すことで「この人は自分のことをよく考えてくれている」と思ってもらえるきっかけになるかもしれません。そこから信頼関係の醸成の糸口に繋がることもあるかもしれないので、仮説をもってみるのが大切ではないかと考えました。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>地域福祉コースに所属する学生として、将来は社会福祉士を目指しているので知識や専門的スキルなどを習得していきたいです。実習先の勤務されている方々の熱い思いにとっても良い影響を受けました。しかし、気持ちだけでは質の高い支援を提供することができません。知識や専門的スキルは必須条件なので、日々の勉強に取り組んでいきたいです。また、国家試験の勉強も怠らなく取り組み、将来社会福祉士になる夢を叶えたいと思います。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>遊佐町社会福祉協議会に勤務されている方々は、非常に熱い思いを持って困難な事例にも取り組まれていました。困った方の役に立つために、知識や専門的スキルも兼ね備えておりながら覚悟を持って仕事に取り組まれている姿が印象に残りました。また、実際の事例を生活支援コーディネーターの方と取り組む機会がありましたが、学生の私の意見でもしっかり受け入れていただきました。新たな視点を積極的に取り入れる姿は、とても柔軟な考え方をされていると方々ばかりだと感じました。更に、実際に利用者の方の自宅を同行訪問させていただくなどの貴重な体験もさせていただきました。最後に、遊佐町社会福祉協議会の中には、百歳体操が行えるスペースがあり住民の方々が出入りされている様子もありました。地域に根差し、住民の方と互いに尊敬しあっている関係性が伺え、信頼関係が構築されているようでした。</p> <p>実習生の私の要望なども聞き入れてくださり、とても学びが多く得ることの出来た実習先でした。</p>
<p>写真 (1～3点)</p>	